

# 和歌山県言語聴覚士会

## News Letter 第41号

VOL. 41 2021年12月

挨拶	1	本紹介	4
各局活動報告	2	新入・退会・異動等会員情報	4
研修会に参加して	2	議事録要約	5
新入会員挨拶	2	広告	8
STの仕事って楽しい!?	3	編集後記	9

### 挨拶

副会長 訪問看護ステーション中紀 天野 哲弥

長く続いたコロナ禍の中、今年度ようやくオンラインという形で基礎講座や症例検討会を開催することができ安堵しておりました。そうこうしているうちに、今度は終息の気配となり、県士会も活動を再開しないといけません。日本言語聴覚士協会では研修会や学会もオンラインの方が参加者も多く好評だったそうですが、今後は現地開催で行う方向で既に動いています。これからの県士会活動も会合にすべきかオンラインも行うか悩むところです。

これまでも都道府県士会と日本言語聴覚士協会は連動し、地域包括ケアシステムや失語症支援者養成事業などで地方行政とも連携して活動してきました。今後の国からの要請としては、聴覚障害児・者へSTの協力が期待され老人施設での補聴器の装用・調整や乳幼児聴覚スクリーニングなどについて、都道府県行政から県士会に問い合わせがきているところもあるそうです。当会でもそれらに対応できる小児領域や老人施設の会員に協力・参加して頂くかもしれません。

また、このたび協会会員情報に所属県士会の項目が追加され、協会会員と県士会員の一致化が推進されています。コロナ禍からちょうど2年、協会も県士会も一致団結して新たな社会要請に対応すべく新たな人事・組織の改編もありますので、どちらとも皆様の参加・協力を今後ともよろしくお願いいたします。

## 各局活動報告

教育局 南和歌山医療センター 中瀬 通子

2021年7月4日(日)に日本語聴覚士協会生涯学習プログラム基礎講座をオンラインで開催いたしました。「臨床のマネジメントと職業倫理」を板倉登志子先生に、「研究法序論」を静智宏先生にご講義いただきました。「臨床のマネジメントと職業倫理」は県内12名・県外10名、「研究法序論」は県内12名・県外17名の方にご参加いただきました。とても具体的に分かりやすくお話していただきましたので、参加した方は十分に理解でき、有意義な研修になったことと思います。

昨年度はコロナ禍で開催を見合わせるようになってしまい、会員の皆さまには大変申し訳ありませんでした。今後もオンラインで毎年開催いたしますので、ぜひご参加ください。

## 研修会に参加して

角谷リハビリテーション病院 川口 愛

7月4日に開催された基礎講座に参加させていただきました。臨床のマネジメントと職業倫理では、言語聴覚士法や倫理について触れながら、板倉先生からリハビリ中にリスクが生じる場面についての講義がありました。特に嚥下訓練時は気をつける必要があると再認識できました。

研究法序論では、研究に必要な知識から症例報告の題の付け方まで様々な内容を教えて頂きました。難しく感じる内容も静先生が分かりやすく補足説明してくださり、楽しく学ぶことができました。

昨年度は新型コロナの流行により、勉強会等の機会が失われつつありました。その渦中、オンラインという形で基礎講座を開催していただけたことを心より御礼申し上げます。

## 新入会員挨拶

河西田村病院 玉置 愛永



今年度より河西田村病院に入職致しました玉置愛永と申します。入職して半年以上経ち新しい環境にも慣れたくさんの患者様と関わらせていただく中で、自分自身の未熟さを実感することが多く勉強の連続です。これからも先生方のご指導のもと、知識や技術の向上に励みたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 中谷病院 江川 航平

今年度より、和歌山県言語聴覚士協会に入会いたしました江川航平と申します。食  
べることとお話することが大好きで、言語聴覚士という職業を目指しました。臨床を  
経験してまだ半年ですが毎日様々な刺激があり、とてもやりがいを感じております。  
まだまだ未熟ではありますが、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



### 宇都宮病院 兼田 愛里

今年度より入会します、医療法人久仁会宇都宮病院の兼田愛里と申します。コロ  
ナ禍ではありますが県士会をはじめとした様々な場で、知識や技術を身につけてい  
き患者様ひとりひとりに愛寄り添うリハビリテーションを提供できるよう日々努力  
します。至らない点も多いですが、ご指導ご鞭撻のほど宜しく願い致します。

## ST の仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『ST の仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

### 橋本市民病院 木村 奈央美

大学卒業後、橋本市民病院に入職してから4年が経ちました。急性期病院ということもあり、多様な疾患の患者様の  
日々変化する症状の評価や訓練を行っています。同じ疾患でも患者様により症状はさまざまに自己学習を行ったり、先  
輩や他療法の先生方からいただいたアドバイスを基に日々成長させていただいています。

私がこの仕事に就いてやりがいや楽しさ感じる場面は、患者様からリハビリの時間を楽しみにしていたという言葉  
を聞いたり、元気になった患者様本人を見て喜んでいる家族様の姿を目にした時です。また退院後も、気さくに声をか  
けていただき患者様の元気な様子や症状が改善している姿が自信につながっていると思います。患者様から学ばせて  
いただき、沢山の方々に助けられながら今まで楽しく言語聴覚士として働くことができています。

新型コロナウイルスの影響で面会制限が厳しくなっている中で、患者様や家族様の不安が少しでも軽減できるように  
関わっていきたいと考えています。

## 本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった!」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています♪

貴志川リハビリテーション病院 菊澤 巧磨

題名 : 「自分の小さな箱から脱出する方法」  
著者 : アービンジャー・インスティテュート  
出版社 : 大和書房

「自分の小さな箱から脱出する方法」大和書房 を御紹介します。本との出会いは職場の上司に「君、箱に入ってるな」の一言で、上司からこの本を勧められ本屋さんで手に取り出会いました。自己欺瞞、箱の中に入るという表現を用いて自分自身や、人間関係などの問題について物語が展開されていきます。箱に入ること、信頼や責任感の欠如、積極性や参加意思の欠如、コミュニケーションの問題などを引き起こす。その箱に入らないようにするための行動、思考などが書かれています。この本を読んだことで考え方が広がったような、今までとは別の角度から物事を見れるようになった気がします。現在の自分の生活の中で少しでも違和感や疑問を感じられている方がいればこの本を手にとっていただき、少しでも心が楽になり前を向けるきっかけになれば幸いです。

今回は貴志川リハビリテーション病院の増田早紀先生にお願いしております。

## 新入・異動・退会等会員情報

(令和3年11月現在)

### <新入>

323 検校 剛 (紀和病院)      324 玉置 愛永 (河西田村病院)  
325 江川 航平 (中谷病院)      326 兼田 愛里 (宇都宮病院)

### <異動>

159 輪野 裕理 (紀南病院 → 自宅)

### <退会>

205 瀬戸根 和弘 (中江病院)  
230 平田 和代 (高陽園)

### 現在の会員数

正 会 員 :      168 名                      学生会員 :      0 名                      賛助会員 : 2 名 1 団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局 : 琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内  
TEL : 073-481-4522 FAX : 073-444-9792  
mail:wakayama\_st\_jimu@yahoo.co.jp

# 議 事 録 要 約

## 令和3年度第2回理事会

日時：令和3年9月25日（水）Zoom会議 19:00~20:45

参加者：山崎 古久保 天野 岩本 静 青木 土井 中武 尾藤 中瀬

### ○山崎会長

9月1日言語聴覚の日掲載予定（読売新聞）

### ○天野副会長

訪問リハ研修会について、今年度は研修会は開催せず訪問リハ推進財団にてリモート開催。

### ○古久保副会長

- 1)7月23日、8月4日に和歌山JRAT会議出席。
- 2)8月7日、失語症者向け意思疎通支援者事業養成研修に参加。
- 3)和歌山県障害福祉課山内副主査と失語症者向け意思疎通支援事業について情報交換。
- 4)協会より新生児聴覚スクリーニング及び健診事業についてのアンケートに返答。
- 5)令和3年9月5日、小児症例検討会開催予定。

### ○事務局 岩本理事

- 1)会員情報の項目を統一。必要項目の選定を行い、一元管理化する。
- 2)求人情報などHP掲載についてマニュアル化を検討する。

### ○社会局 静理事

- 1)第25回病院協会学術大会 最優秀賞の選出について  
論文作成：16名中7名⇒2題を選出
- 2)第26回病院協会学術大会プログラム委員会出席  
令和3年8月6日（金）15:00~17:00  
STの演題数確保方法を検討。

### ○学術局 青木理事

- 1)学術局の部長・副部長の編成について  
北部部長：橋本先生（和歌山県立医科大学附属病院）、  
北部副部長：矢田先生（角谷リハビリテーション病院）  
南部部長：稲田先生（南紀医療福祉センター）
- 2)令和3年度症例検討会を開催予定 10月10日（日）  
開催方法：Web開催（Zoom）症例検討：3題程度 ミニレクチャー：静理事

### ○広報局 土井理事

機関紙第21号を8月上旬にホームページへ掲載。Instagram、Facebookを更新

### ○財務局 中武理事

年会費自動払込の希望者へ領収書発行。

## ○地域支援局 尾藤理事

1)令和2年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習

7月17日(土) 13:30~17:00 和歌山市ふれ愛センター 参加者：受講者6名、会員3名

2)令和3年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

8月7日(土) 9:30~16:30 勤労福祉会館プラザホープ

参加者：受講者8名、県担当者大内様、古久保副会長、静理事、前島会員、中野会員、辻本会員、濱田会員、和田会員

8月21日(土) 9:00~12:00 勤労福祉会館プラザホープ 参加者：受講者8名、会員5名。午後の実習は中止

## 令和3年度第3回理事会

日時：令和3年11月2日(火) Zoom 会議 19:00~21:00

参加者：山崎 天野 古久保 岩本 静 土井 中武 尾藤 中瀬

## ○山崎会長

1)10月26日 紀いけあ 和歌山医療的ケア児者家族会 代表 角下委津子氏来院

医療的ケアを必要とする子供たちの教育と生活を考える会の下部組織

2)10月27日 和歌山県障害福祉課橋本・大内氏来院。

聴覚障害児支援中核モデル事業について会談

3)和歌山県長寿社会課よりかつらぎ町地域ケア会議のST参加依頼に尾藤先生。

今後の依頼に向けて地域包括ケア研修修了者を把握する。

## ○天野副会長

1)10月7日 訪問リハ研修会(リモート開催)案内を配信

2)10月29日 協会代議員に立候補届け出

## ○古久保副会長

9月29日 和歌山 JRAT 会議出席

## ○事務局 岩本理事

会員情報の統一について理事や地区委員の持つ情報も集め一元管理する。

HP 運用方法については理事が HP 掲載した場合はその旨メールにて配信する。

## ○社会局 静理事

1)ふれあい人権フェスタ 2021 にブース出展予定

日時：令和3年11月20日(土) 10:00~16:00

場所：和歌山ビッグホエール

内容：各相談、パンフレット配布、嚙下体操や失語症支援の紹介 DVD を流す予定

人数：2名予定(静、前島会員)

2)第26回和歌山県病院協会学術大会の参加について

日時：令和3年11月23日(火・祝) 9:00~16:00 場所：ホテルアバローム紀の国

第5会場：Ⅲ群(4題) 座長：尾藤理事

シンポジスト：大高会員(和医大紀北分院)

## ○学術局

1)学術局会議について、8月2日(月)、9月3日(金)、10月27日(水)の計3回 Zoom にて開催。

2)ホームページについて古久保副会長、静理事、中瀬理事、尾藤理事に Zoom にて掲載方法を伝達。

### 3)Web 症例検討会について

10月10日(日) 令和3年度学術局 Web 症例検討会開催

一般発表：4例 ミニレクチャー：静理事 司会・座長：青木

当日運営：古久保副会長、中瀬理事、橋本会員、矢田会員 参加者：27名

### 4)学術大会について

学術局会議の中で検討、第一回学術集会は来年度開催を目標とし、第一回学術集会開催の前段階として、2022年3月に成人・小児合同で0.5回学術大会という形にて開催する。

開催日：2022年3月20日(日)10時~

開催方法：Zoom(開催本部は那賀病院)

内容：一般発表3フロア(若手向け、小児、成人)、シンポジウム、ミニレクチャー

### ○広報局 土井理事

ニューズレター第41号作成に向けて寄稿依頼中

### ○財務局 中武理事

年会費未納者情報を整理し、メールでお知らせ実施

### ○地域支援局 尾藤理事

1)令和2年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修補習

令和3年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

日時：10月2日(土)、10月16日(土)、10月30日(土)

場所：和歌山市東部コミュニティセンター、和歌山市ふれ愛センター、橋本市産業文化会館

参加者：受講者7~14名、会員4~8名

2)令和3年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修

10月23日(土)、24日(日)リモート研修会

参加者：前島会員、中瀬理事、岩本理事、青木理事、小倉会員、岡野会員、井川会員、谷坂会員、船渡会員、遠藤会員



熱を加えずに  
まぜるだけで  
ムースゼリーが  
すぐに作れます！

クイックゲル化食品

# ミキサーゲル



ミキサーゲルで作るムースゼリーとは、「おいしさ」「やわらかさ」「まとまり」「適度な付着性」「経時的安定性」に優れた、安心・安全の食事形態です

## 泡だて器やスプーン等で混ぜる場合

ミキサーゲルを加え  
1分程度かき混ぜます



しばらく  
おきます  
(3分以上)

再度かき混ぜムース  
ゼリーに仕上げ  
て出来上がり



添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g  
●冷たい食材の場合 1.5~2.0g

## ミキサー使用の場合

食材にミキサーゲルを  
加え攪拌  
します  
(30秒程度)



しばらく  
おきます  
(1分以上)

再度攪拌します  
(30秒程度)



盛りつけて  
出来上がり  
(5分程度で安定  
します)

添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g  
●冷たい食材の場合 1.0~2.0g

お湯を加えて  
混ぜるだけ！  
簡単に美味しい  
粥ゼリーが  
できます！



粥ゼリーの素

# 宮源のお粥

うるち米  
国産米粉使用

- 簡易的嚥下評価のテストフードとしての利用
- でん粉分解酵素不使用で、お米本来の風味を味わえます
- お餅、お団子の代替としても最適です
- 2kgタイプは5年間の保存(賞味期限6年)が可能



① 計量して → ② 熱湯を加えて  
かき混ぜます

「宮源のお粥」に対し  
水(お湯)5~7倍



③ 出来上がり  
\*50度以下に冷め  
るとゼリー化します



2Kg

賞味期限  
6年



賞味期限  
3年半

お手軽パック

「おうちで作る  
かご食の本」



監修  
黒岩 恭子  
藤谷 順子  
飯野登志子

A5オールカラー  
32ページ

困ったときにひらく本  
「嚥下食Q&A」



監修  
藤谷 順子  
増田 邦子

A5オールカラー  
24ページ

お問い合わせは

073-455-1711

FAX 073-455-1211

宮源 検索

詳しくはネットで検索 HPIはこちら

株式会社 宮源

〒640-8403 和歌山県和歌山市北島 332 番地  
http://www.miyagen.net/

MiyaGen

食べる喜びを大切に

〔編集後記〕

今回も広報紙発行に際しまして、お忙しい所多くのご寄稿、ご協力頂きありがとうございました。今年は多くのWEB研修が開催され、コロナ禍でも会員の皆様と繋がりを得ることができました。寒さは日ごとに増す季節ですが、会員の皆様が明るい新年を迎えられることを、心よりお祈りいたします。来年も県士会活動を何卒よろしくお願いたします。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)



発行：和歌山県言語聴覚士会  
会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人  
琴の浦リハビリテーションセンター  
〒640-0014 和歌山市毛見 1451  
TEL：073-444-3141

編集：広報局  
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地  
TEL：0739-43-6200  
FAX：0739-43-7891